

vol. **04**

平成28年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第142号)

# 組合活性化情報 中央会とくしま

特集1

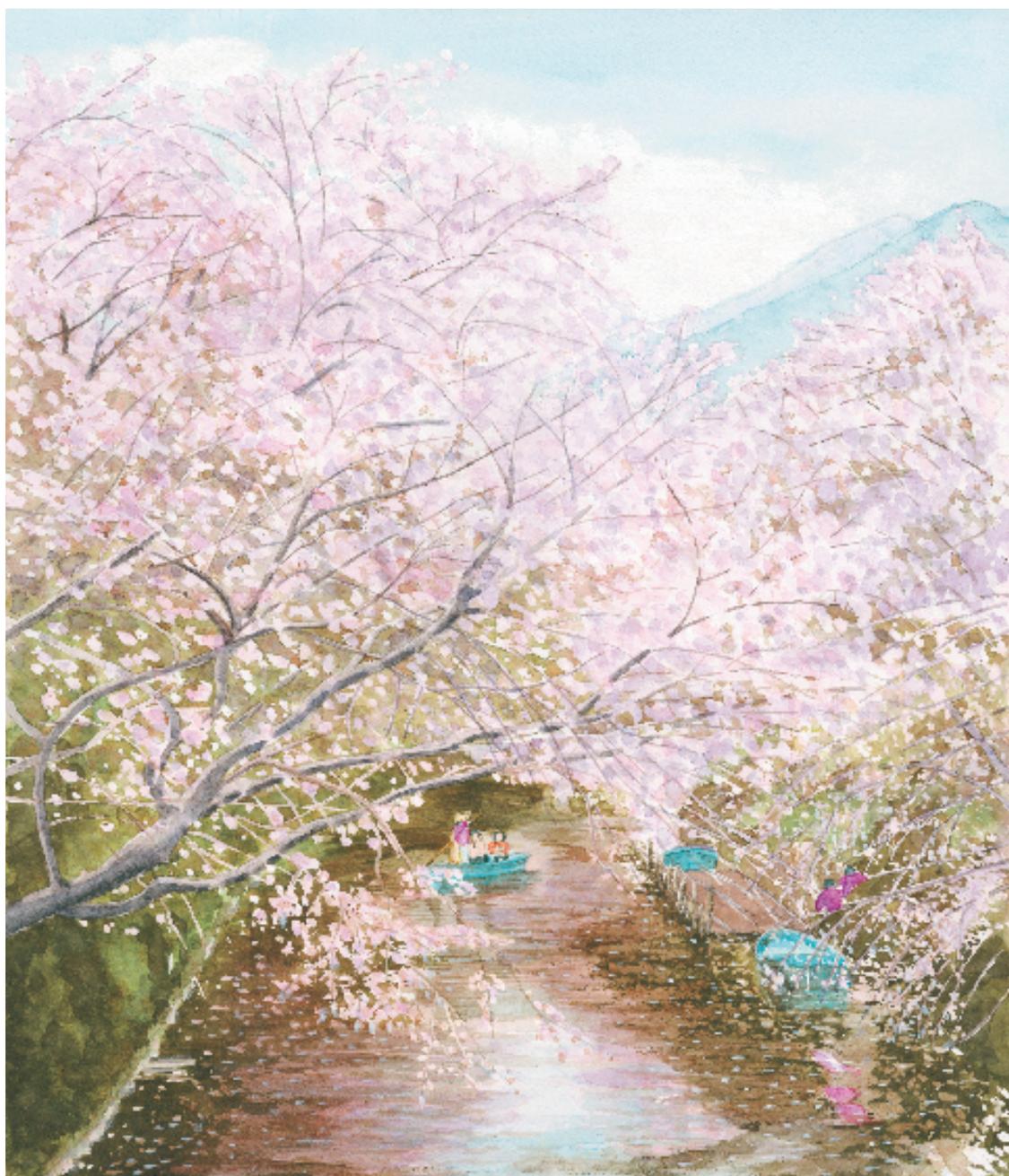
**四国の元気な組合を紹介します**

特集2

**マイナンバー制度(第6回)**

マイナンバーカードについて

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



# 組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 04

平成28年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第142号)

特集  
1

## 四国の元気な組合を 紹介します

～平成28年度組合資料収集加工事業から～

2

特集  
2

## マイナンバー制度(第6回) マイナンバーカードについて

9



## 株式会社 ミヨシキャスティング

10

## 組合ホットニュース

12

◎協同組合徳島県機械金属工業会  
協同組合鳥取金属工業会

～災害時組合間連携協定を締結しました！～

## 青年部コーナー

13

◎青年部活動トピックス



## 情報連絡員レポート

15

平成29年1月の景気動向

## 中央会トピックス

16

- ◎モデル組合に認定しました。
  - ・赤帽徳島県軽自動車運送協同組合
  - ・徳島市指定上下水道工事店協同組合
- ◎組合管理者講習会開催
- ◎環境経営セミナー開催
- ◎BCP(事業継続計画)図上訓練開催



二条城/  
スティーブ・ジョブズ

19

## 楽にいこう

20

「あなたが大事にしているものは何ですか？」

～あなたの思考や行動に影響を与えるものは何？～

## お知らせコーナー

22

◎事業承継税制・金融支援の窓口が、都道府県に変更となります。～平成29年4月1日から～

編集  
後記



表紙絵

作者：徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹氏

## タイトル：「生名谷川桜ロマン街道」

生名谷川は勝浦郡勝浦町の水源より勝浦町を経て勝浦川上流に注いでいます。川の両岸約1キロの区間にソメイヨシノやしだれ桜、八重桜が約400本植えられ、「生名谷川ロマン街道」と名付けて県下を代表する桜の名所の一つになっています。開花時期には多彩なイベントを企画し、船下りや産直市、ステージショーなどが行われ、夜間は提灯約500個とLED約30個を取り付けて幻想的な夜桜を演出します。



# 特集

## 1

## 四国の元気な組合を紹介します ～平成28年度組合資料収集加工事業から～

昭和 57 年度から全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業などに先進的に取り組んでいる組合の諸事例を収集して、その活動や共同事業の手法などを他組合へ移転することを目的に、組合資料収集加工移転調査研究事業を実施しております。

平成 28 年度の収集テーマは、「地域活性化・地域社会への貢献」「災害への対策・対応」「組合組織による生産性向上・取引力強化」の 3 つを取り上げ、専門家の協力を得ながら詳細な調査・分析を行いました。本誌では、これらのテーマに取り組んでいる四国の先進組合事例の抄録を紹介いたします。

### A 地域活性化・地域社会への貢献

#### 企業組合いわまつ（愛媛県）

■住 所	愛媛県宇和島市津島町1269番地 1	■電 話	0895-32-2409
■設 立	平成19年 3 月	■組合員数	8 人
■出 資 金	800千円	■主な業種	酒類の製造及び販売

キャッチ  
フレーズ

「町づくり」から  
「酒造り」へ  
～濁酒による  
地域活性化～

事業・活動推進の  
キーファクター

地元愛溢れる有志による「町並み保存」のブレない理念に「酒造り」の遊び心が加わったことで、地区内外の交流機会と協力者が増し、継続的な地域活性化活動につながった。

#### 1. 背景と目的

愛媛県宇和島市に位置する岩松地区は、明治から昭和初期の建築物が昔ながらの面影を残す地方集落である。第一次産業のほか目立った産業のない同地区では、人口減少・高齢化が大きな地域課題であった。当組合の母体である「岩松町並み保存会」は、酒造場跡を拠点として様々な活動を展開することで地域活性化を図ろうとしていた。

#### 2. 事業・活動の内容

当組合は、同地区の伝統的な町並み保存を目的とする「岩松町並み保存会」の地元有志により設立された。なかでも町並みのシンボルである酒造場跡に寄せられる地域住民の期待は大きく、文化施設や飲食店などさまざまな活用方法が地域活性化策として検討されるなか、「本来の酒蔵として」との声に応え、酒造りの道を模索することとなった。

醸造を手掛けるために組合自ら農業に参入し、平成 19 年に愛媛県内では初となる「どぶろく特区」の認定を受け、どぶろく「nasso」の製造販売を開始した。組合員はいずれも酒造に関して素人のため、外部では愛媛県産業技術研究所等の専門機関と積極的に連携することで、製造技術面の課題をクリアしていった。また内部ではメール等の IT ツールを積極的に活用することで、組合員の情報共有と結束力強化を実現した。

こうした製造販売による事業収益は、本来の目的である地域おこし活動を後押しし、どぶろく祭りなどの地域イベントを通じて来街者増加に一定の効果を上げている。また、地域産品にこだわった地元菓子製造業者とのコラボ商品等により、同地区の知名度向上にも寄与している。近年はどぶろく以外にも甘酒等の新商品を積極的に展開するなど、精力的な活動を通じて地域活性化に貢献している。

### 3. 成 果

当組合の成功要因は、「町並み保存」「地域活性化」という一貫した理念の共有にある。大量生産や利益追求を偏重することなく、酒造りを「地域に人を呼ぶツール」として、また町並み保存活動そのものに遊び心を加え「地域の参画意欲を高めるツール」とすることで、地区内外に多数の協力者を獲得し、製品品質及び売上の向上に成功した。



主力商品「nasso」



仕込工程

## 神山椎茸生産販売協同組合（徳島県）

■住 所	徳島県名西郡神山町鬼籠野字小原102番地	■電 話	088-676-1105
■設 立	昭和62年 8月	■組合員数	6人
■出 資 金	15,200千円	■主な業種	椎茸の生産販売

キャッチ  
フレーズ

「神山椎茸」のブ  
ランド化及び地  
域に密着した人  
材育成

事業・活動推進の  
キーファクター

組合及び組合員間でデータを共有管理しており、共同販売・生産・購入をする際に活用している。これにより適正な生産体制の管理及びチェックによる品質管理体制の確立が達成できた。

### 1. 背景と目的

神山町では、生産者の高齢化、後継者不足及び若者の町外流出等により、地域全体の活力を取り戻すことが急務となっている。共同販売事業を活性化させることで、特産品である椎茸を「神山椎茸」としてブランド化させる。また、並行して組合事業を地域の学校の授業に活用してもらい、若い世代の地域への興味・親しみを育む。

### 2. 事業・活動の内容

組合及び組合員が緊密に連携し、菌床椎茸の生産・品質管理体制を整備することで、とくしま安2農産物（安2GAP）の認定を取得した。他県産の椎茸から新基準値を超える放射性セシウムが検出されたことによる椎茸産業全体への風評被害もあったが、本組合では放射能検査を実施しており、放射性物質のリスクにも対応している。これにより「神山椎茸」が、食品安全に加え環境保全や労働安全にも配慮した優れた農業生産体制で生産していることを消費者に示すことができた。現在では組合の取引先である京阪神の中央卸売市場、特に神戸中央市場において「神山椎茸」が高いシェアを占めており、「神山椎茸」のブランド化に繋がった。



とくしま安2農産物(安2GAP)認証



地域の小学生による組合見学

また、地元の小学校・中学校による組合見学が毎年実施されており、将来の消費者であり地域の担い手でもある地元の小学生・中学校の生徒に、椎茸の生産から流通に至る一連の流れを実際に体験・学習してもらうことにより、地域の特産品である椎茸及び食の安全について学ぶ機会を提供している。

さらに地域の環境保全にも力を入れており、組合及び徳島県、徳島森林づくり推進機構の3者でパートナーシップ協定を結び、「とくしま協働の森づくり事業」を実施した。地元の中学校の生徒と一緒に森作り活動をし、ブナやモミジなど10種類の広葉樹を植樹した。

### 3. 成 果

本組合は、地域との密着及び組合経営理念「安全安心な商品の提供と環境に配慮した経営の実現」という方針に基づき事業を企画・実施している。組合で高度な生産管理体制を整備し、神山椎茸をブランド化することで、組合員の利益だけでなく地域の活力にも繋がっている。併せて、優れた生産管理体制・設備により、地元の小学校・中学校の授業に組合が協力することで、学ぶ機会の創出に繋がっている。

#### はりまや橋商店街振興組合（高知県）

■住 所	高知県高知市はりまや町1丁目5番14号	■電 話	088-882-4174
■設 立	昭和42年3月	■組合員数	46人
■出 資 金	65千円	■主な業種	異業種

キャッチ  
フレーズ

継続は力なり。  
まちの魅力、  
浸透中！

事業・活動推進の  
キーファクター

根気強く、継続的なイベント開催をすることで周囲から気にかけてもらえる商店街となり、ボランティアとしてイベント運営を支えてもらえる好循環を実現した。

#### 1. 背景と目的

観光名所「はりまや橋」にほど近い高知市の中心商店街であるが、昭和60年代から量販店の出店等により徐々に衰退傾向にあった。平成10年、周辺地区の再開発事業を期に全国初の木造アーケードをシンボルとしてリニューアル、周辺住民等も参画し手作りにこだわったイベントを通じて来街者増加、空店舗対策に取り組んでいる。

#### 2. 事業・活動の内容

本組合では、平成10年に建設した全国初の木造アーケードを皮切りに、来街者や店舗数の増加を目指した取組みを精力的に行ってきた。その中心は、周辺住民や連携機関も参画しての手作りにこだわったイベントの企画・運営であり、主なものに、歌声の響くまちづくりを目指して毎月第3木曜に開催しているまちなか歌声喫茶「木々くらぶ」、毎週金曜日にアーケード内に県内各地の物産市を設置する「はりまや市」、年に2度ほど開催している「100円商店街」、高知商業高等学校と取り組む「はりまやストリートフェスティバル」がある。

イベントの運営は企画から設営に至るまで商店街の「手作りに」こだわり、「いつも何かやっている商店街」を目指して、ひとつひとつのイベントの「継続性」を大切にしている。本組合では理事長の全体統括のもと、商店街中心部に位置するイベント広場にて高頻度でイベントの打ち合わせを実施しており、組合員同士の交流機会にもなっている。また、組合員と顧客・事務局と他地域のイベント出店者のように人的交流の機会を日常的にもち、イ



100円商店街当日の様子



第3木曜開催の「木々くらぶ」

ベント時の運営サポーターなどとして周囲の協力を長期にわたって得られている点は本組合の特長である。

常に新たな取組みに挑戦している商店街に、人は集まり、新たなつながりを生み出し続ける場としての認知が高まっている。

### 3. 成 果

イベント開催時には平時の5倍程度の人通りがあり、うち4割程度は毎回、初めての来街者であることから、来街のきっかけづくりになっていることがわかる。準備や運営を通して組合員や参加者のつながりを日常的に深め、買い物だけの場ではなく、人が集まり交流が生まれる「地域コミュニティ」となっている。

## B 災害への対策・対応

### 中村地区建設協同組合（高知県）

■住 所	高知県四万十市右山元町3丁目3番26号	■電 話	0880-34-3100
■設 立	昭和48年9月	■組合員数	41人
■出 資 金	13,538千円	■主な業種	建設業

キャッチ  
フレーズ

建設業×地域＝  
防災力アップ

事業・活動推進の  
キーファクター

若手役員が事業開始当初から同一メンバーで活動することにより、組合にノウハウが蓄積され、地域との共同・継続実施が可能となっている。

#### 1. 背景と目的

高知県幡多地区の建設業界では、長年に亘る公共事業の大幅な減少等により、施工力の低下、入職者の減退、地域防災力の低下が危ぶまれていた。一方、地域においては、南海トラフ地震の脅威にさらされており、建設業界の魅力向上とあわせて防災力アップのためのイベントを実施することとなった。

#### 2. 事業・活動の内容

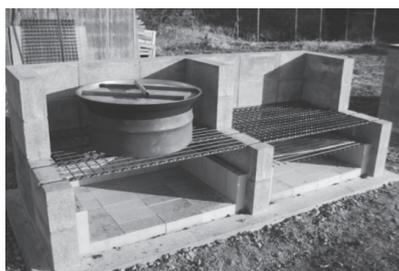
組合では、若手役員、高知大学の専門家、中央会指導員（オブザーバー）で魅力発信委員会を組織し、組合の課題抽出とその解決方法について、組合内部での検討も重ねながら平成25年度より議論を開始。多岐に亘る課題の中から、業界イメージ向上とあわせた防災に関する活動を取り上げ、平成26年度以降本事業に取り組んだ。

本事業においては、まず自治体を窓口として、地区自主防災組織とイベントに関する打合せを開始。当初は双方の「思い」の違いがあったが、回を重ねるごとに解消されていった。

イベントは、高知大学の専門家による「防災講座」、同じく高知大学「防災すけっと隊」の指導による「防災ポーチ」作り。組合製作の「かまどベンチ」贈呈とこれを利用した炊き出し訓練、建設業



かまどベンチ（ベンチ状態）



かまどベンチ（かまど状態）



炊き出し訓練

のイメージ向上のための子供を対象とした「建設機械の体験乗車」からなる。

費用に関しては、高知県担当部局の理解を得られ、補助事業が活用できたことも継続要因である。

「かまどベンチ」は高知市の学校等からの要望で設計図を提供、実際に学校で製作・設置するなどされている。また、この取り組みは、高知大学を介して平成28年度JICAの研修でも取り上げられることとなった。

### 3. 成 果

従来から防災パトロールや地域イベントでの建設機械体験等を実施してきたが、このイベントにより、地域との距離がさらに縮まり、組合員に対する地域企業としての認識も高まった。本事業は組合だけの取組みにとどまらず、高知大学、市町等を介することにより、地区自主防災組織との連携がよりスムーズなものとなるきっかけとなった。

## C 組合組織による生産性向上・取引力強化

### 愛媛県繊維染色工業組合（愛媛県）

■住 所	愛媛県今治市蒼社町2丁目1番4号	■電 話	0898-32-0455
■設 立	昭和40年11月	■組合員数	9人
■出 資 金	57,900千円	■主な業種	タオル用原糸の染晒加工の事業を行う者

キャッチ  
フレーズ

最新リージング  
マシン導入による  
共同事業の生  
産性向上。

事業・活動推進の  
キーファクター

施策活用により、財務面で負荷軽減できたこと。  
生産性向上に向け最新設備を導入できたこと。

#### 1. 背景と目的

近年、今治産地では、タオルブランディングの成果やタオルメーカーの世代交代、中国タオルの輸入減少など相まって、当組合の共同事業であるサイジング事業の生産性向上が大きな課題であった。最新設備に更新することで短納期の実現、作業員の負荷軽減、作業時間とロスの減少、高密度織物に対応していきたいと考えていた。

#### 2. 事業・活動の内容

最新設備への更新は多額の資金が必要であり、当組合への財務的負担が重くかかるため、国の施策である「平成25年度補正中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（ものづくり補助金）」を活用・応募する方針とした。施策活用に向けた手続き手順や提出物の準備等、選定支援機関の支援を受け、当組合の事務局が中心となり事業計画書の作成、提出書類を整備し、無事採択に至った。

平成27年2月に最新型のリージングマシン（藤堂製TC-700C）を2台導入・設置し、試運転を経て本番稼働している。1日平均12本の畦取り（例：経糸本数3,000本、幅250cm）を行う場合、従来機では1本あたり45分程度を要していたが、最新鋭の設備では20分程度で完了し、毎回、25分程度の時間短縮となった。さらに不具合発生による機械停止や調整にかかる作業員



導入したリージングマシン



リージングマシンの畦取り

の負担軽減にも繋がり、従来機と比較して50%以上の生産能力アップとなり、加工量の増加に十分対応できるようになった。また、ガーゼ織物で利用される高密度織物の畦取りについても、老朽化した設備での品質維持が困難であったが、機械化による正確な畦取りで品質を確保でき、受注案件にも対応することが出来るようになった。本取組みにより当組合における共同事業の生産性向上、タオルメーカーに対する取引力強化を実現することができた。

### 3. 成 果

生産効率化により作業員の負荷が軽減され、新たな事業への時間投資が可能となった。機能性素材と綿を融合させた新しい織物の開発、極細番手によるアパレル向け用途への提案など、タオルメーカーの取組みに協力できる体制が整い、他社との差別化による事業拡大を今後、図っていく予定である。

#### 香川県電気工事業工業組合（香川県）

■住 所 香川県高松市三名町字東原30番7  
■設 立 昭和25年3月  
■出 資 金 38,931千円

■電 話 087-816-1433  
■組合員数 683人  
■主な業種 一般電気工事業

キャッチ  
フレーズ

工業高校生徒と  
意見交換を行い、  
電気工事業界入  
職を図る。

事業・活動推進の  
キーファクター

会長を中心にまず有志で取り組むことにより、  
フットワーク軽く高校生に対する対応の仕方を  
把握することができ、青年部会員にポイントを  
伝えられるようになったこと。

#### 1. 背景と目的

電気事業法が平成28年4月から改正され、さらに平成32年には発送電分離が想定されており、これに合わせて各組織や制度にも変化が予想され、本業界はこれまで経験したことのない激変の時期を迎えている。このような状況下、本組合では、諸事業の着実な取り組みを行うとともに、多くの若い人材が電気工事業界を志望し、また後継者が継ぎたいと思える魅力的な業界創りを目指そうと考えた。

#### 2. 事業・活動の内容

電気工事業界は、工務店等の依頼を受けて日常の業務を遂行しており、若い人材との接点はほぼ皆無である。それゆえ、工業高校の生徒であっても、業界の存在自体をなかなか認識してくれていないのが実情である。そこでまず、工業高校生徒との意見交換会を実現すべく、平成27年6月に香川県立高松工芸高校に初めてアプローチした。

そして、平成28年1月に同校授業の一環として、同校電気科の2年生40名との第1回意見交換会を開催した。その際に、参加した生徒に対してアンケートを実施、高校生の思っていること、感じていることが大変よく理解できた。そこで、この結果を青年部の有志で検討し、高校生に対する対応の仕方を十分に把握することができた。青年部全体会での活動報告・反省等を行い、平成28年10月に第2回意見交換会の開催に至った。

当初は、会長を中心にとにかく実施にこぎ着けたという状況であったが、第2回では、青年部員の参加も増加し、徐々に青年部員ひいては組合員の理解が深まっているように思われる。香川県内には電気科を擁する高校が5校あり、各支部長に事業内容を理解してもらい、他の4校でも早急に意見交換会を実施したいと考えている。



第1回意見交換会の様子



第2回意見交換会の様子

### 3. 成果

高校生に対する対応の仕方を十分に把握することができたとはいえ、実践の場で青年部員がきちんと対応できるかという点でまだ心配な面も残るため、接遇等のトレーニングを十分行う必要がある。

工業高校の生徒は地元就職志向も強いため、本業界の魅力を存分に伝えて、入職を促進していく。さらに工業高専にもアプローチすることや、「電工ガール」という言葉が生まれているように、女子に対するアプローチも必要である。

#### 庵治石開発協同組合（香川県）

■住所	香川県高松市庵治町6391番地176	■電話	087-871-2384
■設立	昭和39年2月	■組合員数	39人
■出資金	32,565千円	■主な業種	花崗岩・同類似岩石採石業

キャッチ  
フレーズ

庵治石採石ズリ  
の新用途を開発  
し、有効活用を  
図る。

事業・活動推進の  
キーファクター

太田代表理事が日頃から大学等の研究機関関係  
者と緊密な信頼関係を築いており、研究機関と  
の協力体制構築に障害が無かったこと。

#### 1. 背景と目的

庵治石は日本を代表する最高級墓石材として広く認知されているが、採石ズリ（採掘作業時に発生する小石混じりの土）は、埋め立て用資材等として一部再利用されているが、収益性はほとんどないのが実情である。この採石ズリを「地盤強化に使えるのではないかと」と太田代表理事が企画・立案し、事業がスタートした。

#### 2. 事業・活動の内容

採石ズリの活用方法を検証するため、平成25年6月に地元の香川大学工学部と香川高等専門学校に相談し、翌平成26年7月からは四国産業・技術振興センターの「産学共同研究開発支援事業」の助成金を得て共同研究を実施した。この結果、採石ズリは一般的な地盤材料である花崗土よりも高い締固め密度と大きな支持力を持ち、沈下が少なく、宅地の地盤材料として優れており、さらに砂のみの地盤に比べて液状化を抑える効果もあり、地盤沈下しにくくなる効果を持つことが明らかになった。こうした特性を踏まえて、採石ズリを宅地地盤改良としての土工材料、液状化が発生しにくい地盤造成材料として商品化する可能性を見出した。そして、採石ズリを、40～100ミリの「礫（れき）」、40ミリ以下の「選別ズリ」、100ミリ以下の「ズリ」の3種類に選別して販売を行うことになった。



締固め実験の様子

#### 3. 成果

太田代表理事は、日頃から地元大学等の研究機関関係者と信頼関係を築いており、研究機関へ相談を持ちかけることについては容易だった。そのような人的な関係作りが事業の内容によっては重要となる。今後に予想される南海トラフ地震に対する備えとして本商品を大いに活用し、販路を拡大していく計画だが、近年各地で続発する地震に対しても抜本的対策となりうる事業であり、発展の可能性のあるものと考えている。



採石場と採石ズリ

# 特集 2

## マイナンバー制度(第6回) マイナンバーカードについて

### マイナンバーカードとは

マイナンバーカードとは、表面に氏名、住所、生年月日、性別、有効期限満了日、本人の顔写真が表示され、裏面に氏名、生年月日、個人番号（マイナンバー）が記載されたプラスチック製のICカードです。（顔写真は容姿の変動を考慮して20歳以上は10年間、20歳未満は5年間で更新となります）

特定社会保険労務士  
玄 番 芳 江



### ○申請方法

送付された通知カードに、「マイナンバーカード（個人番号カード）の申請書」が同封されていますので、マイナンバーカードの取得を希望する人は、必要事項を記入の上、写真を同封して返信用封筒で送付します。また、スマートフォン等で写真を撮影してWEB申請することもできます。申請は無料です。

### ○受け取り方法

申請を行うと、約1ヶ月後に交付通知書（はがき）が届きます。交付通知書に受取期限・受取場所・必要な持ち物が記載されています。暗証番号が必要となりますので、事前に決めていきましょう。



### ○マイナンバーカード1枚でできること

- ① 本人確認の際の公的な身分証明書になります。
- ② 個人番号を証明する書類として利用できません。

通知カードを使用する場合は、合わせて本人確認書類の提示が必要ですが、マイナンバーカードの場合は、これ1枚で済みます。

- ③ 各種行政手続きのオンライン申請ができます。

平成29年7月から開始予定となっているマイナポータルへのログインやe-Tax（国税電子申告・納税システム）などの各種の行政手続きのオンライン申請に利用できます。

- ④ コンビニなどで各種証明書を取得できます。（※市区町村によってサービス内容が異なります。）

コンビニなどで住民票、印鑑登録証明書などの公的な証明書を取得できます。

- ⑤ 市区町村や国の様々なサービスを受けられます（※市区町村によってサービス内容が異なります。）

市区町村や国等が提供する様々なサービス毎に必要な複数のカードがマイナンバーカードと一体化できます。

- ⑥ 各種民間のオンライン取引に利用できるようになります。

オンラインバンキングをはじめ、各種の民間のオンライン取引に利用できるようになります。

### ○マイナンバーカードは申請した方がよいのか？

マイナンバーカードの作成は義務ではありませんが、受けたいサービスがあるのなら申請した方がよいでしょう。まだまだ、申請が進んでいなくて、10%にも達していない状態です。今後、政府はさらなる普及に力を入れてくることが予測されます。



# 株式会社 ミヨシキャストイング

このコーナーでは中央会の助成事業である「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新補助金事業」に採択された県内中小企業のものづくりトップランナーをご紹介します。

第8回目は「鋳物砂の自動管理（平成24年度）」、「機械加工までの一貫生産体制づくり（平成25年度）」、「FC・FCD製品の成分・品質管理体制の構築（平成26年度）」をテーマにもものづくり事業に取り組みました『株式会社ミヨシキャストイング』様をご紹介します。

同社は、モーターの減速機や船舶エンジンなどの部品を製造している県内を代表する企業であり、長年培った経験と技術で高品質の製品を提供しており、お客様からの大きな信頼を獲得されています。今回は、國安一光代表取締役社長にお話を伺いました。

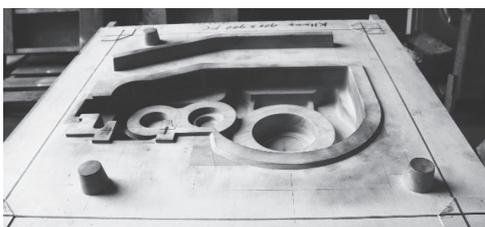
## 1 御社の沿革、特に鋳造に取り組むことになった経緯をお聞かせください。

株式会社ミヨシキャストイングは、昭和24年4月に徳島県三好郡加茂（現：東みよし町加茂）に私の父が國安鋳造という名称で創業したことに始まります。その後、昭和29年4月に企業組合三好鋳造工場に改組、昭和62年に徳島県三好郡三野町（現：三好市三野町）に鋳造工場を新築し、平成7年4月に企業組合ミヨシキャストイングに社名変更しました。そして平成21年、現在の株式会社ミヨシキャストイングに組織変更するとともに、鋳造部、機械部及び建設部の3本柱を確立し、今日に至っています。

私自身、幼少期から父親の姿を通して鋳造のものづくりを見て育ちましたので、自然に2代目社長として経営に携わることになりました。父親の時代から数えて63年間、鋳物製品（主にねずみ鋳鉄FC、ダクトイル鋳鉄FCD）の製造一筋に歩んで参りました。当社の強みは、模型製作（木型）に始まり、鋳物製造、そして機械加工と、素材から完成品まで一貫生産できることです。



國安一光 代表取締役社長



木型の例（ポンプのケーシング）

## 2 上に挙げた3回のものづくり事業における、それぞれの内容と成果についてお聞かせください。

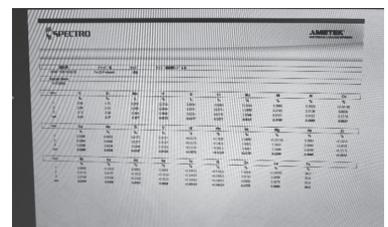
平成24年度事業は、製品の品質に影響する鋳物砂の水分を自動管理する装置を導入しました。砂は何回も使用するので水分量は極めて重要な因子になります。品質、製造コストを左右する注水監視を自動的に行い、欠陥のない製品を安定して提供することが可能になりました。

平成25年度事業では、ニット製品を製造する織機の薄肉機械部品の鋳造とその加工のために、FC材の高精度加工に取り組みました。人的スキルの上達とMC機の導入で薄肉脆性材料加工の解決を図りました。

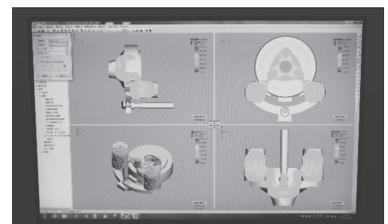
平成26年度事業では、模型製作、鋳型、鋳湯（溶かした鉄（湯）を鋳型に流し込む作業）、そして加工に至る鋳造工程において、湯回り、冷却過程等の鋳造現象をシミュレーションできるソフトを導入しました。今まで職人の経験と勘に頼っていた製造方法と比較すると、正確かつ効率性の高い製品づくりが可能になりました。



導入した発光分光分析装置



成分分析表（ミルシート）



凝固シミュレーションソフトによる温度分布の解析

欠陥の発生原因を解明し、模型や鋳型製作の改善に活かすことができるとともに、鋳造方案が効率よくできるようになりました。また、発光分光分析装置の導入は、成分表を直ちに提示できるようになり、製品の信頼性を高めることができました。

### 3 鋳造は、模型の製作、鋳型の方案、砂、湯等の管理、成分接種など独特の技術を要しますが、若手社員へ技術を伝承する際の秘訣などがありましたらお聞かせください。

まずは仕事に関心を持ってもらうこと、見て覚えることを基本にしています。それから人との関係性が重要ですので、社内での勉強会を開催したり、同業他者との積極的な交流を促しています。

### 4 鋳造による製造方法は古墳時代からあるものの、日本では工場も少なくなりました。しかし、残さなければならぬ製造法の一つであると思います。新しい鋳造の方向性をどうお考えですか？

鋳造業の生産拠点は、日本から中国へ、さらにベトナムへと移動しつつあり、今後日本における鋳造でのものづくりはさらに少なくなることが予想されます。しかしながら、鋳造は複雑形状の製品を低コストで商品化できるところにメリットがありますので、例えばこれまで5kgの湯を必要としていた製品を4kgにするなどの工夫を提案し、顧客満足度の向上を追求できる体制を整えることができれば、今後もやっていけると考えています。そのために、社員全員のコミュニケーション能力の向上と豊かな発想力の醸成により、提案型企業への転換を目指しています。



当社で製造された製品の例

### 5 徳島県でのものづくりにおける今後の展望をお聞かせください。

昭和30年代の徳島県には十数社の鋳物工場がありましたが、現在では、(株)平田鋳造様と弊社の2社になりました。近年では県内企業からの受注量が少なく、主な取引先は京阪神や広島方面の企業となっています。受注製品は、建設

機械、農機具、造船、ボイラーなど多種多様で多岐に渡りますが、受注量の割に利益増加に結びついていないのが現状です。設立当初と比較すると、現在では需要と供給のバランスが崩れ、ものづくりの地図が大きく変化しています。それでも、鋳造によるものづくりを継続できたのは、弊社がチャレンジ精神を持ち続けてきたからだと思います。人口減少が進む徳島でやっていくには一層の努力が求められますが、地域を活かす、人を活かす取組みを積極的に行っていく必要があると思っています。

### 6 御社が大切にされていることは何でしょうか。

「誠心誠意」を社是としております。「誠心誠意」は人と人の心が通い、高品質なものを造る基本であり、これを守ることににより、ものづくりを通して社会貢献できると考えています。

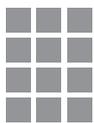
毎年年初には、私が本年の方針を公表します。弊社64年目の挑戦として、今年「和」をテーマとしました。社員全員が一丸となってもものづくりの誇りと喜びを感じるため、邁進いたします。

#### 【今回取材を通して】

世界の経済環境がめまぐるしく変化していく中で、企業存続のために、常に頭を動かせ、身体を動かし、困難な時代を乗り越えてこられたことにお聞きし、誠実で温かいお人柄の奥に秘めた強さ、逞しさをひしひしと感じました。人と人、企業と企業との相互の信頼関係を大切にし、その信頼関係をベースに、新たなビジネスチャンスを生み出し続ける姿に感銘を受けました。顧客の期待を超える製品とサービスを提供するために、企画提案力を磨き続けることにより、さらに顧客に喜ばれる製品を作り続けていけることと思います。今後益々のご発展とさらなる飛躍を祈念しております。國安社長、この度はお忙しい中ありがとうございました。

## 企業の概要

- 会社名 株式会社ミヨシキャストイング
- 所在地 徳島県三好市三野町加茂野宮1725-1
- 電話 0883-77-3477
- FAX 0883-77-3300
- E-mail kuniyasu@m-casting.com
- 代表取締役社長 國安 一光
- 設立年月日 1949年4月
- 従業員数 59名
- 事業内容 鋳造鉄工業
- 資本金 4,800万円



# 組合ホットニュース

## 協同組合徳島県機械金属工業会・協同組合鳥取金属工業会 ～災害時組合間連携協定を締結しました！～



協同組合徳島県機械金属工業会（理事長・山本紘一氏）と協同組合鳥取金属工業会（理事長・田中敏明氏）は、平成 29 年 2 月 16 日(木)、鳥取県鳥取市のホテルモナーク鳥取において、鳥取県商工労働部経済産業振興監 西村 昭氏並びに同部企業支援課長 谷本泰俊氏の立会いのもと、災害時の相互支援や平常時の交流促進を目的に災害時組合間連携協定の調印式が行われました。この調印式は、平成 26 年 5 月に両県中央会が災害時の連携協定を締結しており、両県中央会の後押しで組合間の協定が実現したものです。

同協定は、協定先組合及び組合員が被災した際に、支援側組合が応援支援物資や資材の供給、復旧作業に従事する人材派遣等を定めたものであり、その実現のため平常時から交流を図る内容となっています。

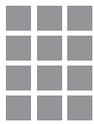


左：山本理事長、右：田中理事長

調印を終え、両組合理事長より「県域を越えて両組合が連携協定を構築することは有意義であり、災害時だけでなく、平常時から活発に連携を進め、お互いを知ること、有事の際には、迅速に行動できる体制を構築していきたい。」と話されました。

その後、開催された意見交換交流会では、鳥取県から 19 名、徳島県から 11 名が参加し、今後の両県の連携事業の推進等について活発な意見交換がなされ、両県の親睦が深まりました。

また当日は、協同組合徳島県機械金属工業会の組合員等が協同組合鳥取金属工業会の組合員企業のサンライズ工業株式会社を訪れ、工場及び金属加工技術の視察を行い、大変有意義な時間となりました。



# 青年部コーナー

## 青年部活動トピックス

### ◇あわとーくを開催しました!!◇

平成 29 年 1 月 28 日(土)、ろうきんホール（徳島市南末広町 23-64）において、あわとーく（企業と学生の交流会）を開催しました。包括業務提携を結んでいる中央テクノスクールと徳島商業高校の学生等から 70 名の申し込みがあり、UBA（青年中央会）、YEG（会議所青年部）、商工会青年部連合会から 21 社が参加しました。また、集まった学生を和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作るためアイスブレイキングを実施しました。アイスブレイキングでは自己紹介や簡単なゲーム等をして緊張をときほぐしました。雰囲気が良くなった後、各社趣向を凝らしたフリートークで大いに盛り上がりました。参加した学生からは「とても楽しかった。このような機会があれば次回も是非参加したい。」「色々な話が聞けて、働いてみたいと思いました。」などの嬉しい意見を沢山頂きました。



参加企業経営者と学生の交流の様子

### ◇平成 28 年度 組合青年部リーダー交流会議の開催◇

平成 29 年 2 月 7 日(火)、徳島ワシントンホテルプラザにおいて、平成 28 年度 組合青年部リーダー交流会議を開催しました。ライブメディアクリエイター ノダタケオ氏を講師に招き、「ファンを増やすソーシャルメディア活用術」をテーマにご講演いただきました。参加者 30 名の中、ノダ氏より以下の説明がありました。

#### 講演概要

- 売上を上げるためには新聞、テレビに広告を載せるという方法があるが、載せるためには費用がかかる。一方、ソーシャルメディアの利用にはお金はかからない。ただし、お金がかからないからといって、新製品などの広告を載せるだけでは、相手は引いてしまい、ファンは増えないため、工夫が必要である。
- ソーシャルメディアに載せる記事は、雑談 8 割、広告 2 割が良い。雑談によりファンができ、実際の集客につながる。
- ファンの効能は 2 つある。1 つめは、例えば商品（サービス）が他の企業と「横並び」になったとき、消費者は何を基準に選ぶのか。ブランド力、美味しさなどがあるが、生産者の人柄も判断材料となる。この材料により、「横並び」の状態から頭一つ抜けることができる。2 つ目は、ファンは宣伝係になってくれること。ファンに存在をおすすめしてもらえる（いわゆる口コミマーケティング）。

●ファンを増やすための理想的な循環モデル

- (1) ソーシャルメディアの存在を店頭、別の媒体で告知
- (2) リアルなファンをソーシャルメディアへ巻き込む
- (3) ファンがソーシャルメディアで友だちにおすすめしてくれる
- (4) その友だちの来店（購入）のきっかけをつくる
- (5) 実際に訪れてくれたり、モノを買ってくれる



ライブメディアクリエイター ノダ氏の講演

◇平成 28 年度 新年互礼会◇

平成 29 年 2 月 7 日(火)、徳島ワシントンホテルプラザにおいて、平成 28 年度青年中央会新年互礼会が開催され、総勢 42 名にご参加いただきました。ご来賓として、徳島県商工労働観光部 副部長 岡田徹様、株式会社商工組合中央金庫徳島支店支店長 君塚浩二様を始め、多数のご来賓の皆様をお迎えし、徳島県中小企業団体中央会副会長 平石元治様にご乾杯のご発声をいただき、今年の青年中央会の活動への期待を込めて乾杯となりました。

最後に、徳島県中央テクノスクール校長 奈須善彦様より中締めをしていただき、盛会のうちに閉会となりました。



新年互礼会 全景



県商工労働観光部副部長  
岡田徹様（来賓挨拶）



県団体中央会副会長  
平石元治様（乾杯）



県テクノスクール校長  
奈須善彦様（中締め）

★今後のスケジュール★

○平成29年4月上旬 平成29年度 第1回 役員会

平成29年1月

# 情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

## 【全体の景況】

今年は温暖な年始めであり、客足が伸びる等一部の業界或いは業種において需要が増加した。

一方、官公需の減少に悩む声や組合員の高齢化・人手不足からくる労働力の逼迫、また季節商品の動きが鈍いといった声が寄せられた。

トランプ米大統領が就任して1ヶ月。「米国第一」の旗を振り、内向きの経済に猪突猛進する様子に世界中が予想以上の緊張を強いられる中、英国の欧州単一市場離脱表明、不安定に蠢く国際情勢等が円安・株高へのリスクを引き起こすなど、国内外経済の先行きを極めて読みにくくしている。県内中小企業においても、今後経営していく上での不安材料が多い状況が予想される。

## 【製造業】

### <食料品製造業>

【味噌】前年同月比では味噌の生産量は増加したが、出荷量は減少。また、主原料である米、大豆の値上がり傾向が続いており、収益環境は悪化。

【菓子】温暖な年始めで人も多く、ますますの出だしたように感じられる。輸出関連企業中心に収益が上がり、消費マインドも少しは好転しているかに見える。しかし、今年は先進国のトップが交代し、せっかく上向きになった経済に水を差すのではないかと危惧せざるを得ない。

### <木材・木製品>

【木材】原木丸太入荷量はやや少なかったが、注文は多く荷動きは良い。しかし、価格は低調に推移した状態であり、製材製品についても大きな需要増加は見られず依然として厳しい状況で推移している。

【木材】売上高不変。収益状況不変。景気回復の兆しもなく大変厳しい1年になりそうだ。

### <印刷>

【印刷】対前年比での受注量減少や定期刊行物の減少が目立ってきており、景気の好材料が見当たらない。

【印刷】前年同月比では、各社悪化。関連企業の廃業もあり、業界全体に厳しさが広がっているような気配である。官公需も減少し、ますます受注競争に拍車がかかる。

### <窯業・土石製品>

【生コン】出荷量は昨年同月比微増であった。この時期は出荷量に多少の変動があるものの、本年度はもともと工事量が少なく、昨年度と比べても全体的に出荷量は減少している。

### <鉄鋼・金属工業>

【鉄鋼】業況は弱含み状況である。売上高や引合いの減少等が一部見受けられ、依然として先行き不透明感が強い。

【ステンレス】売上高不変。収益状況不変。国内は大手企業で設備投資の動きはあるものの、全体として良い材料の少ない先行き不透明な状況が継続している。

### <一般機器>

【機械金属】売上高や収益状況の改善に繋がるような大きな変化はみられない。トランプ政権誕生で貿易摩擦など、景気に対する先行き不透明感が依然として強い。また、雇用情勢の改善により、中小企業への人手不足が懸念される。

## 【非製造業】

### <卸売業>

【建築材料、鉱物、金属材料卸】出荷量が順調であった為、対前年同月比137%と大幅に増加した。

### <小売業>

【繊維卸】小売業の新春の立ち上がりも力強さに欠けるところがあり、売上の停滞が続いている。

【ショッピングセンター】店舗全体では昨対比97%。大手衣料品店が昨対比94%と落とした為、売上に大きく影響した。専門店の業種別では、引き続き食料品と飲食店の客足が伸びており、好調を維持。しかし、一部の店舗は売上に苦戦している。

【プロパンガス】理事会にメーカーの担当者を招いて、勉強会を開いた。組合員企業や顧客に周知し、売上高増加に繋げていきたい。

【電気機器】寒波の影響で寒い日があったものの、暖房機器などの季節商品の動きが鈍かった。また、白物家電やテレビも買換需要中心であった為、全体的に厳しい状況。

【露小売業】年明け早々から現場、見積り等の需要が昨年より多い。一方、一般の畳替え工事は低調であり、例年並みに推移している。

### <商店街>

【徳島市】冬物セール中心の展開であったものの、対前年同月比大きな変化はなかった。前年をカバーできたものの、市況は相変わらず悪く専門店街、商店街共に客足は鈍かった。

【阿南市】業況は特に変化なし。

### <サービス業>

【土木建築業】業務量は落ち着いており、業況も不変であった。雇用人員が増加した事により、時間外労働削減効果が少し出ている。

【自動車整備】登録自動車(普通車)の新車登録台数の合計は+17.8%の2,028台と販売数を伸ばし、今年度最高の売上となった。一方、軽自動車の新車登録台数の合計は-0.5%の1,467台であり、前年同月を僅かに下回り過去5年間で最低。整備や修理等の収益状況は、前年に比べて比較的好調。

【旅行業】毎年1月はあまり忙しくはなく、業況にも大きな変化はなかった。

### <建設業>

【建設業】年度末を迎えているが、公共工事の発注は低調である。高齢化が進み、世代交代を図らなければいけないが、求人に対する応募が少ない。

【鉄骨・鉄筋工事業】売上高不変。収益状況不変。年始めは、設備操業度が少し低下した。

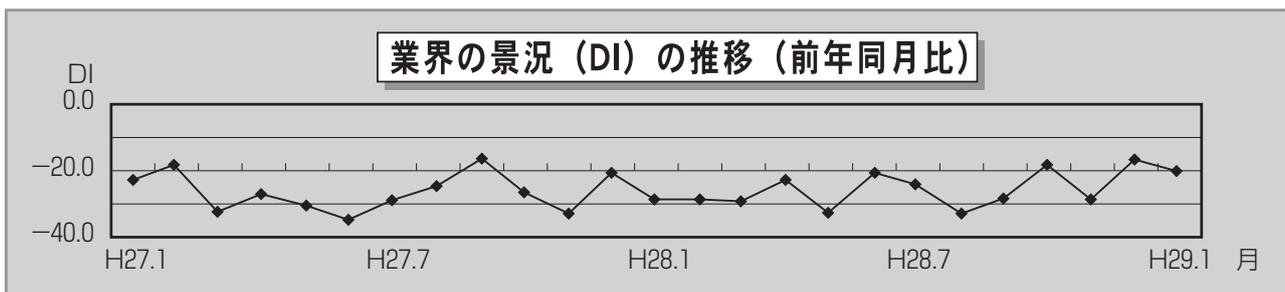
【板金工事業】新築、リフォーム工事共に少し落ち着いてきたようだ。

【電気工事業】新設住宅口数は249件であり、対前年比108.2%と増加した。

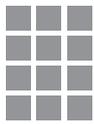
### <運輸業>

【貨物運送業】一般貨物輸送は、今年も荷動きが少なかった為低調に推移している。軽油単価は、前年同月比平均単価で約12円強上昇。今後の原油市場価格及び円相場に注視していきたい。

【貨物運送業】土木建築以外の多くの事業者が閑散期となるが、今年はその傾向が強く、特に帰り荷が減っている状況。軽油価格は少し上がっている。



※ DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



# 中央会トピックス

## モデル組合に認定しました。

～赤帽徳島県軽自動車運送協同組合・徳島市指定上下水道工事店協同組合～

本会では、他の模範となる中小企業組合をモデル組合として認定し、その優れた共同事業運営の仕組みを県内各組合で共有化することで、県内中小企業の組織化推進、県内組合のレベルアップを図るため、平成 28 年度からモデル組合認定支援事業を開始しました。

### “モデル組合”の要件

本会会員組合であって、次の①～⑩のすべてを満たす組合です。

- ① 組合設立後 15 年以上経過していること。
- ② 組合の事業運営、組織運営が適切で、かつ財務内容が堅実であること。
- ③ 組合の事業が組合員の利用状況、事業規模の拡大状況等からみて活発に行われていること。
- ④ 専従役員が 1 名以上いること又はそれと同等の事務処理が可能な体制となっていること。
- ⑤ 中央会の指導を受けていること。
- ⑥ 根拠法、その他の法令に違反していないこと。
- ⑦ 定款が法令に違反していないこと。
- ⑧ 事業報告書、決算関係書類の作成方法等が法令に違反していないこと。
- ⑨ 過去 3 年間の決算において、連続して当期損失を計上していないこと。
- ⑩ 直近決算において、差引正味財産が出資額を下回っていないこと。

### 平成 28 年度 “モデル組合” 認定！

平成 28 年 12 月 5 日に開催しましたモデル組合認定審査委員会において、2 組合（赤帽徳島県軽自動車運送協同組合、徳島市指定上下水道工事店協同組合）がモデル組合として認定され、同組合に対し、モデル組合認定証及び楯を贈呈いたしました。



赤帽徳島県軽自動車運送協同組合



徳島市指定上下水道工事店協同組合

## 平成 28 年度 “モデル組合” を紹介します！

モデル組合として認定された事例を紹介しますので、事業運営や組織運営の参考にして下さい。また、本会ホームページにモデル組合事例集として掲載することとしております。

### 赤帽徳島県軽自動車運送協同組合

住 所：徳島市川内町平石若松 2 - 9

理事長：菅生 浩昭

設立年月日：昭和 53 年 4 月 28 日

主たる業種：貨物軽自動車運送業

組合員数：54 名

#### <評価されたポイント>

- ・全ての役員が、部会に所属のうえ業務執行にあたっている。また組合員を束ねる地域グループや独自営業を行う組合員のまとめ役も役員があたり、組合員の意見を汲み上げ、反映させた事業運営を行っている。
- ・新たに加える組合員にとって、経験不足や営業面でのリスクが解消され、新規組合員が安心して加入しやすいサポート体制が確立されている。
- ・事業の拡大のため、平成 22 年 4 月から徳島県内で郵便局を除いて初めての事例となる特定信書便事業に参入した。平成 24 年には(株)全国赤帽などと連携し、日本赤十字社の血液製剤、アイソトープの運送事業を開始し、業績の向上につながっている。
- ・徳島県警察本部と子どもを犯罪から守る「子ども 110 ばん」の締結や鳴門市と「災害時における物資等の輸送に関する協定書」を締結するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

### 徳島市指定上下水道工事店協同組合

住 所：徳島市南末広町 1 番 13 号

理事長：篠野 義秀

設立年月日：昭和 32 年 1 月 30 日

主たる業種：管工事業

組合員数：51 名

#### <評価されたポイント>

- ・全ての役員が、8つの常設委員会に属し、その業務執行に参画しており、円滑な事業運営に貢献している。また、管工事業界の将来を担う後継者を中心に青年部を設立しており、親組合事業への参画や連携に積極的に取り組んでいる。
- ・徳島県内で初めて、官公需適格組合（工事）の証明を取得。強固な共同受注体制を築き、水道メーター取り替え等業務、漏水修繕業務を継続的に受注し、収益の向上につながっている。
- ・組合が工事の見積書の作成、資材の準備、代金の回収、クレームの処理まで行っており、営業力の弱い小規模事業者が生き残れる環境づくりに貢献している。
- ・災害により水道施設の被害が出た際に復旧作業が迅速に行えるよう、県内6水道組合や四国四市の水道組合の協力体制を構築。また徳島市水道局との「大規模災害時における水道の応急給水・応急復旧に関する協定書」を締結するなど、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

## 組合管理者講習会開催

平成 29 年 2 月 13 日(月) 午後 1 時 30 分より、徳島経済産業会館において、「組合の決算・税務手続き」をテーマに、組合管理者講習会を開催しました。同講習会は、毎年決算期の迫ったこの時期に、正しい組合の会計知識を身につけてもらおうと中央会が開催しております。

公認会計士の後藤吾郎氏から、期末における決算手続きや組合員の移動に伴う個別問題を重点に、経理処理のポイント並びに決算関係書類の書式について解説がありました。また、平成 28 年の各種税制改正や平成 29 年度に予定される配偶者控除の見直しについても詳しく説明され、参加者は熱心に聴講されていきました。その後、参加者からの個別相談に対応し、閉会となりました。



組合管理者講習会

## 環境経営セミナー開催

平成 29 年 1 月 26 日(木)と 2 月 21 日(火)の計 2 回、いずれも午後 1 時 30 分より、徳島グランヴィリオホテルにおいて環境経営セミナーを開催しました。第 1 回目はエコアクション 21 審査人の百々健一氏から「建設業・産業廃棄物処理業者向け説明会」と題して、環境経営ガイドラインについての講習があり、主に建設業の方々に多数ご参加頂きました。第 2 回目は「取り組み事例に学ぶ環境経営の創意工夫」と題して、事業者の環境経営について精通している専門家 宇田吉明氏（宇田環境経営研究所）から、実際の環境経営取組企業の事例を交えた講演を頂き、ご参加頂いた方からは「すぐに実践できるアイデアを聞くことが出来た。早速取り組んでいきたい。」など、有り難いお言葉を頂きました。



環境経営セミナー

## BCP（事業継続計画）図上訓練開催

平成 29 年 3 月 7 日(火) 午後 1 時 30 分より、徳島県立工業技術センターにおいて、BCP 図上訓練を開催しました。

講師に株式会社フォーサイトコンサルティング五十嵐雅祥氏をお招きし、図上訓練についての説明がなされました。地震発生直後や緊急避難などの場面をシミュレーションし、模擬的に体感することにより、自社における現状の BCP の有効性を再検証することができました。参加者は、活発に意見を出し合いながら、災害対応力を体得し、大変有意義な時間となりました。最後に、講師から BCP（事業継続計画）や各種マニュアルの見直しの重要性及び社員全員の防災意識向上、災害に強い企業を意識して進めて欲しいと話がありました。



BCP 図上訓練

# 日本全国 名城めぐり

## 二条城

所在地：京都市中京区二条通堀川西入二条城町541  
築城種類：平城  
築城年代：慶長6年（1601）、寛永3年（1626）  
築城者：徳川家康、徳川家光  
天守の現況・形態：天守台のみ残る

二条城は、慶長6年（1601）徳川家康が、京都における儀礼施設として築城に着手し、同8年（1603）には、ここで征夷大將軍拝賀の儀式を行いました。家康が造営した当時、現在の二の丸御殿と天守部分だけでしたが、その後、3代將軍の徳川家光が、伏見城の遺構を移すなどして、本丸御殿と天守閣を整備し、寛永3年（1626）に完成させたものです。

家康が建てた二の丸御殿は、桃山文化を代表する武家風書院作り、狩野探幽の襖絵や格天井が見事です。一方、家光が増築した本丸部分には、元々本丸御殿や五層の天守閣がありましたが、度重なる火災で焼失し、現在は京都御所にあった旧桂宮御殿が移設されています。

二の丸御殿の廊下は、「うぐいす張り」になっており、歩くとキュッキュッと板から音をたてます。これは人が廊下を歩いていればすぐに気づくことができるように考慮した仕掛けで、来客はもちろん万一何者かが忍び込んできたときにも気づきやすいようにという警備の意味もあります。

二条城は、二の丸御殿の荘厳な建物や内部の襖絵、そして15代將軍の徳川慶喜が大政奉還を宣言した大広間を間近で見られ、歴史の1ページに遭遇する楽しみがあり、265年間続いた江戸時代の始まりと終焉を象徴する場所となっています。

平成29年（2017）は、武家政権が終わりを告げ、新しい国づくりへの転換期となった慶応3年（1867）の「大政奉還」から150年の節目となります。京都市では、『大政奉還150周年プロジェクト』を実施し、幕末維新に京都で活躍した先人たちとゆかりを持つ都市とともに様々な催しが予定されています。（崇）



## 映画の 日々

## 「スティーブ・ジョブズ」

2016年日本公開／上映時間：2時間2分

監督：ダニー・ボイル、脚本：アーロン・ソーキン

出演者：マイケル・ファスベンダー、ケイト・ウインスレット、セス・ローゲン 他

この映画は、1984年のMacintosh、1988年のNeXTcube、1998年のiMac、それぞれ新作発表会開始直前40分間のスティーブ・ジョブズの姿が描かれています。伝説のプレゼンテーションはほぼ描かれていませんし、ジョブズの功績を讃えてもいませんし、おまけに結構嫌な奴です。

この映画は賛否両論分かれており、観るまでは正直期待しておらず、主演のマイケル・ファスベンダーの大ファンなので一応観ておこうくらいの気持ちでした。しかし観終わった後、私の心は深い感動で満たされていました。特に心に響いたのは娘リサとの話です。優れた特異な才能を持つ父と娘の確執と和解がその三つのエピソードの中にそれぞれ盛り込まれ、クライマックスの父と娘の場面では涙がとまりませんでした。

もちろん同僚や上司との会話（口論）劇も物凄い迫力で、アップル社のことをよく知らない私でも充分楽しめました。ゴールデングローブ賞で脚本賞を獲得したアーロン・ソーキンの見事な構成による会話劇を是非堪能して下さい！（典）

何かとストレスの多いこのご時世。職場や家庭で居づらさ生きづらさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

そんなあなたのために、このコーナーでは肩の力を抜いて、日常を少しでも楽に過ごすためのちょっとしたコツをお伝えしていきたいと思っています。

今回のテーマは

## 「あなたが大事にしているものは何ですか？」

～あなたの思考や行動に影響を与えるものは何？～

私たちの日常は情報で溢れています。そのすべてを収集し、処理することは不可能といえるでしょう。そこで、私たちは無意識のうちに情報を取捨選択し、思考や行動へと結びつけています。

例えば、欲しいと思う車ができた時に、その車種が急に街中に増えたように感じたことはありませんか。これは、これまで取り込んでいなかった情報を取り込むようになった分かりやすい例ですよ。

同じように「仕事は辛いもの」と思っている人は、無意識のうちに仕事の辛い側面にばかり焦点を当て、自分でそう思い込んでいるのかもしれない。

その結果、私たちを取り巻く環境（世界）は、私たちが思うように（見たいように）見えているのです。

それでは、私たちの情報の取捨選択や受け取り方に影響を与えているものは何でしょうか。こんな質問から考えてみましょう。

「あなたが大事にしているものは何ですか？」  
そう問われたら、あなたはへと答えますか？

例えば、家族や友人、職場の同僚といったように、周りの「人」や、その人たちとの「つながり」と答える人はたくさんいると思います。

また、車や家、洋服やアクセサリ、趣味の道具などといった、自分の所有している「モノ」を答える人も多いでしょう。

それでは、目に見えるもの（物質的なもの）以外であなたの大事にしている価値観や信念にはどんなものがありますか？

そう聞かれると、すぐ答えが出る方もいれば、普段あまり考える機会がないのでなかなか答えが出ない方も多いかもしれませんね。そんな方もこの機会に下頁の枠の中を参考に、少し考えてみてください。

安心 安全 安定 共感 愛情  
貢献 支え 尊敬

信頼 真実 誠実さ 思いやり  
気遣い 仲間 絆

平等 平穏 調和 秩序 美  
自律 効率 整理 寛容さ

直感 挑戦 表現 冒険 成長  
達成 変化 主体性

ユーモア 気楽 自由 無邪気さ  
刺激 創造性

これらはほんの一例です。まずは自分が大事にしている基準や満たしたい価値観は何かを意識してみてください。

そしてそれらの価値基準が、情報の取捨選択や思考、行動にどんな風に影響を与えているかを考えてみましょう。

何か行動を起こす時、「目的を達成」することを動機づけにすると意欲が湧いて行動につながるタイプの人と「苦痛を回避」することを動機づけにすると行動力を発揮するタイプの人があります。

目的達成思考の強い人は、明確な目標を持つとモチベーションが上がりやすいので得られるものについて話すことが多く、ムチよりはアメを与える方が効果的です。

このタイプの人は前頁枠内の例で言うと、「挑戦」「主体性」「達成」といった価値観を大事にしていることが多いでしょう。

逆に「苦痛回避」的な思考が強い人は、問題を発見したり、回避するとき行動力が上がりません。避けたい状況や問題を話すことが多く、アメよりムチを与える方が効果的です。このタイ

プの人は「安心」「安全」「平穩」といった価値観を大事にしているでしょう。同じ人でもその人がその時の状況によって発揮するものが変わってきたりしますので、あくまでひとつの傾向です。

これらは、どちらが良いとか悪いとかいうものではありません。

ただ、自分が何を大事にし、どういう価値基準に重きを置いているのか。また、自分と関わりのある人たちが、どういう価値基準を持っているのかを少し観察してみてください。

そうすることであなたの行動力の向上につながったり、もっとコミュニケーションがうまくいくことでしょう。

この思考や行動に影響を与える判断基準は、このほかにもいろいろとあるので、またの機会にご紹介したいと思います。

(M)





# お知らせコーナー

- 経営承継円滑化法による支援措置の適用を受けている皆様
- 今後適用を受けようとしている皆様



## 事業承継税制・金融支援の窓口が、 都道府県に変更となります。～平成29年4月1日から～

「中小企業における経営の承継の円滑化に関する法律」における事業承継税制・金融支援の認定や報告等はこれまで各地の経済産業局が窓口となっていましたが、平成29年4月1日から、窓口が都道府県に変更になります。

認定や報告等に関し、経営承継円滑化法による支援措置の適用を受けている方、または今後適用を受けようとしている方は、同日以降は制度適用のために必要な書類の提出や手続の相談につき、申請企業の主たる事務所が所在している都道府県の担当課宛てにお願いします。男女雇用機会均等法、育児・介護休業法が改正され、平成29年1月1日から新たに妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントについても防止措置を講じることが事業主に義務付けられます。

### ◎窓口が変更となる主な書類等

- ・ 事業承継税制・金融支援の認定を受けるための申請書類
- ・ 事業承継税制の認定後に提出する報告書類
- ・ 贈与者に相続が発生した場合に相続税の猶予を受けるための切替確認の申請書類
- ・ 事業承継税制・金融支援の手続きに関するご相談

※認定を受けた後の事業承継税制の申告・届出・申請に関する税務署への手続きは、変更ありません。

### ◎提出及び連絡窓口

徳島県 商工労働観光部 企業支援課  
〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地  
TEL：088-621-2369

### ◎参 考

平成29年4月1日から事業承継税制・金融支援の窓口が、都道府県に変更になります。  
(中小企業庁ウェブサイト)

<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2017/170131madoguchi.htm>

#### (経済産業局・中小企業庁のお問い合わせ先)

〒760-8512 高松市サンポート3番33号 高松サンポート合同庁舎

四国経済産業局 産業部 中小企業課

電 話：087-811-8529 (直通)

F A X：087-811-8558

vol. 04

平成28年度 第4号  
(年間4回発行 通巻第142号)

## 組合活性化情報 中央会とくしま



生名谷川桜ロマン街道 水彩画/布川 嘉樹

# 編集 後記

◆第142号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

---

◆今回は「四国の元気な組合を紹介します」と「マイナンバー制度」について特集を組みました。今後の組合運営に役立てて頂ければ幸いです。ご不明な点等がありましたら、お気軽に中央会までお問い合わせ下さい。

---

◆「ものづくりの達人」では、株式会社ミヨシキャスティング様を訪問させて頂きました。長い歴史の中で培われた鑄造の技術は、現代においても日々進化を続けています。同社では、品質だけでなく生産前からお客様に多様な可能性を提案するソリューション型のものであり、伝統や技術を守りながら、顧客満足度を高める努力を怠らない姿勢に感銘を受けました。今後益々のご発展を祈念しております。この度は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

---

◆先日、職場の慰安旅行で大阪に行ってきました。吉本新喜劇を劇場で鑑賞し、テレビ放送とはひと味もふた味も違う面白さを感じてきました。芸人さんの情熱や、間の取り方、巧妙な掛け合いが素晴らしく、どれをとってもプロの仕事だと感じました。私も、何かひとつでも徹底した能力を磨き、プロフェッショナルといえるものを身につけられるように、仕事に誇りを持って日々の業務に取り組みたいと思いました。職員同士で交流もでき、たくさん笑って、最高の一日となりました。